

図書館ニュース

第32号(平成17年(2005)2月)

学術情報ナビゲーションサービス Scopus《スコパス》のトライアル実施中

期間：平成17年2月9日～3月31日

図書館では、Elsevier社が提供する世界最大規模のデータ量を持つ抄録・索引データベース「スコパス」のトライアルを3月31日までの期間で開始しました。

「スコパス」は、4,000以上の出版社が出版する14,000以上の科学・技術・医学・社会科学分野のタイトル(1966年～)で構成され、96年以降の文献には参考文献情報が付加されたことにより、大規模な論文間の引用リンク機能が特長となっています。また、パーソナル・ログイン(要ユーザ登録)により、検索式の保存・再実行や電子メールアラートの機能も用意されています。

「スコパス」へのアクセス、詳しい内容・使い方をお知りになりたい方は、図書館ホームページ「トライアル情報」からお入り下さい。

< Scopus 検索画面 >

The screenshot shows the Scopus search interface. At the top, there are navigation buttons for 'Search', 'Sources', 'My Alerts', 'My List', and 'My Profile'. Below this is a search bar with a dropdown menu for search criteria. The dropdown menu is open, showing options like 'Article Title, Abstract, Keywords', 'Authors', 'Source Title', etc. A callout box points to the 'Scopus Utilization Start' button, stating that clicking it displays this screen. Another callout box points to the search criteria dropdown, stating that users can set search criteria in detail based on the input keywords. The main search area includes a search box with the example text 'E.g. "heart attack" AND stress', a date range selector (set to 'Published 1996 to Present'), and a list of subject areas with checkboxes.

「スコパス」とは、「非常に優れたナビゲーション能力を持つ渡り鳥」の名前だそうです。この名のとおり、このシステムが優れたものであるのか、まずはお試しく下さい。ご意見ございましたら下記アドレスまでどうぞ。

library@shinshu-u.ac.jp

AtoZ からみた電子ジャーナルの利用傾向

昨年8月から導入された電子ジャーナル(洋雑誌)のタイトル管理システム「AtoZ」により、求めるタイトル(論文)へのアクセス経路が整備されました。

「AtoZ」は、それ自身で統計情報を取得する機能を持っています。今回は、その中で「ベンダー別アクセス回数」から利用状況を別表で掲載します。ただし、この数字は「AtoZ」を通してアクセスした回数なので、実際のアクセス回数とは異なる点に注意が必要です。つまり「お気に入り」などでマークしたURLから直接アクセスする回数は含まれません。しかし、利用の傾向は把握することが可能と思われます。

別表でみると利用上位は、EBSCO
InterScience ScienceDirect Kluwer
ProQuest となっています。

全体の約40%がEBSCOなのは、収録タイトル数が最も多いためと思われますが、平成17年度から中止が決まっているKluwerやCambridgeUPの利用が多いことが目立ちます。また、IngentaやHighWireですが、全文利用できるタイトルが少ないにも関わらずアクセスが多いのは、目次情報データベースとして活用されていると推測されます。国内の科学技術情報関係の電子ジャーナルを提供しているJ-STAGE(英語版)へのアクセス数も注目されます。J-STAGEは、図書館ホームページから、日本語電子ジャーナルとしてタイトルリストを別途提供しているので、そちらからのアクセスも考えればかなりの利用があるはずです。

現在、毎年値上がりする電子ジャーナルに対抗するために、平成18年度の電子ジャーナルの見直し作業が学術情報専門部会を中心に行っておりますが、このような利用状況は今後も注視していく必要があります。

A-to-Z Report for Shinshu University Library
Linkout By Vendor Report: Custom 1 Aug 2004 to 31 Jan 2005

Vendor	Link Count
ACM Libraries	44
American Institute of Physics	37
American Physical Society	32
Blackwell Publishing	379
Cambridge University Press	183
EBSCO Publishing	3,358
Elsevier Science	671
Gale Group	226
HighWire Press	116
HW Wilson Co	32
IEEE Computer Society	166
Ingenta	118
J-STAGE	187
Kluwer Online	596
Nature Publishing Group	111
Proquest Info & Learning Co	465
Springer Verlag	428
Wiley Interscience	972
etc	112
TOTAL	8,233

2005年中止に伴うKluwer Onlineのバックファイル利用

Kluwer Onlineは、これまで本学で契約していた電子ジャーナル・パッケージですが2004年で中止となりました。しかし契約パッケージに収録されていたタイトルは、2004年までの発行分を今後6年間バックファイル(全文)で利用することができます。また、2005年の冊子体購読タイトルは、購読キャンパスの限定で電子ジャーナルが利用できます。なお、Kluwer Onlineは昨年Springer Verlagへ吸収されました。

開館 カレンダー

9:00-20:00							9:00-17:00							10:00-16:00							休館							
2005年2月														2005年3月														
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	
27	28	* 24日は17時で閉館します。						27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31		

信州大学附属図書館中央館 発行

担当 学術情報課情報サービス係

2496 e-mail: library@shinshu-u.ac.jp